

自治体における検査拡大の事例

2021/1/21

都道府県	自治体名	検査拡大の内容	備考
東京都	世田谷区	介護事業所の職員(特別養護老人ホーム等の施設入所(居)予定者を含む)、障害者施設の職員、一時保護所の職員(入所予定者を含む)、児童養護施設等の職員(入所予定者を含む)、保育園の職員、幼稚園の職員、上記の施設のうち、感染者が発生した際に施設を利用されている方以上の希望する事業所職員等に対して10月から21年1月のまでに行う。	
東京都	千代田区	①区内の高齢者介護施設で働く全職員への定期的なPCR検査。区が指定管理する特別養護老人ホーム、グループホーム、ショートステイ7施設約430人を対象に約3カ月ごとに実施。8月6日より実施。 ②11月5日より通所介護、地域密着型通所介護、軽費老人ホーム、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援の50社300人対象に定期的PCR検査。年4回。	①8月6日から開始した区内全7施設の職員に対する継続的PCR検査は、10月で1巡目を終了。11月から2巡目の検査を開始。
東京都	足立区	介護施設で感染者が発生した場合、PCR検査の実施について、濃厚接触でなくても不安のある方にはPCRの行政検査を広く行っている。12/9区との交渉で確認。	
東京都	墨田区	12月1日からは区内に約230カ所ある高齢者や障害者施設の5千人を対象に一斉検査。(12/4朝日東京朝刊) 6月に民間の検査会社を誘致し、区民ならいつでも誰でも6千円で検査を受けられる仕組みをつくり、これを活用し徹底的にクラスターの芽をむ。抗原検査も含めれば1日530件の検査が可能で、『ちょっとのどが痛い』程度でも検査可能。診察検査医療機関を順次公開。	●保健師を中心に10人だった感染症係を80人増員。感染状況に合わせ、1月7日、策本部会議でさらに10人以上の増員決定。(21/1/13NHK)

自治体における検査拡大の事例

2021/1/21

都道府県	自治体名	検査拡大の内容	備考
千葉県	千葉市	12月から、福祉施設従事者らが自費でPCR検査を受ける場合に1万5千円まで補助	
千葉県	市川市	20年1月から、65歳以上または60歳代の基礎疾患のある者の希望者を対象に、自宅で唾液採取し公民館などを経由して民間の検査センターで検査検査は1人1回。唾液検査キットによる民間検査。	6万5千人。予算約1億7500万円。
静岡県	三島市	高齢者施設、保育施設など社会福祉施設勤務の市民と65歳以上の無症状（発熱、咳、くしゃみ、鼻水、味覚障害、嗅覚障害等の症状が無い状態）で検査を希望する市民 1月5日開始 自己負担5000円	「三島市新型コロナウイルス感染症PCR検査（社会的検査）」
大阪府	大阪市	特別養護老人ホーム、介護老人福祉施設、障がい者施設などで働く約2万人に対し、2週間に1回の無料のPCR検査。症状のない希望者のみが対象。2月1日から実施し、3月末まで。	
大阪府	豊中市	市内に居住する無症状の満65歳以上の高齢者（施設入所者および施設入所が決まっている者は除く※別途施策有り） 一人1回。2月1日から3月末日まで。唾液検査キット送付による検査。対象者約10万人。検査は民間機関で1日当たり約140人を予定。	守口市など大阪府下8市が同様の事業を検討中。
大阪府	枚方市	高齢者施設、障がい者施設へ新たに入所する65歳以上の市民または基礎疾患を有する市民者で希望する者への無料のPCR検査 600人分を予算化 21/1/4~21/3/22	
大阪府	寝屋川市	ドライブスルー検査（唾液検査）1日10人を30人に、市内20ヶ所1000人の特養に限定して、入所者に2ヶ月に1回、来年3月までPCR検査を行う 自宅でのデリバリー検査も実施	

自治体における検査拡大の事例

2021/1/21

都道府県	自治体名	検査拡大の内容	備考
兵庫県	神戸市	<p>特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、障害児・者入所施設の直接介護等を行う職員 約1.1万人</p> <p>20年11月下旬より順次検査を開始（定期的に検査実施、新規入所者への対応は上記検査の状況を踏まえた上で検討）</p> <p>※唾液によるPCR検査（行政検査として実施。自己負担なし。）</p> <p>※クラスターの防止と医療提供体制の安定的な確保のため、入所施設の中でも介護度の高い施設を最優先にしてPCR検査を実施。</p>	
広島県	<p>広島県</p> <p>対象地域は広島市</p>	<p>●ドライブスルーPCR検査施設を広島市西区に設置。12/10から運用</p> <p>広島市西区に県が設置した「広島PCRセンター」。⇒受付を済ませ問診票に記入し、だ液を採取して提出する。所要時間は1台10分。</p> <p>・対象 広島市内の▽高齢者施設、▽障害者施設、▽医療機関、▽飲食店の従業員や関係者。センターは10日から当面の間、午後1時から6時の時間帯に開設され、電話予約が必要。無症状者も検査。</p> <p>●広島市中区、東区、南区、西区の旧市域の住民およそ60万人とこの地域で働くおよそ20万人の最大およそ80万人に無料のPCR検査。2月上旬から開始予定。</p>	<p>県健康福祉局福永裕文総括官「クラスターになる前に感染の芽を摘むため」</p>

自治体における検査拡大の事例

2021/1/21

都道府県	自治体名	検査拡大の内容	備考
福岡県	北九州市	<p>介護施設や障害者施設が希望すれば入所者と職員に新型コロナウイルスのPCR検査を無料で実施</p> <p>対象施設は特別養護老人ホームなどの介護施設と障害者施設の計約340カ所で、入所者と職員は計約2万9千人に上る。PCR検査は、有効性を高めるため1人最大3回を目安に実施する。</p> <p>検査無料に備え、市は事業費約1億8千万円を見込む。市議会の12月定例会に提出する一般会計補正予算案に盛り込むか、予備費を充てるか検討している。(20/11/18西日本新聞)</p>	<p>北橋健治市長は定例記者会見で「スクリーニング（陽性者のふるい分け）を的確に進め、早めの感染予防を前に進めたい」と話した。</p>
福岡県	福岡市	<p>介護や医療従事者などを対象とした無料のPCR検査を12月中旬から始める。症状のない陽性患者を早期に発見するスクリーニング（選別）目的で1日最大2500件実施し、本年度中に1人3回まで受けられる。</p> <p>市は11月に委託事業者を公募。4社の中から、東京都などで実績のあるソフトバンクグループを選んだ。検査を希望する施設からインターネットで予約を受け付け、人数分の検査キットを送付。受検者は自分で唾液を採るだけで医師の診察はない。結果は2、3日後に分かり、陽性の場合には行政検査を受ける。</p> <p>延べ11万6500人の検査を想定。事務手続きを含めた検査費用は1件当たり6千円程度で、市が国の補助金を活用し全額負担する。県内では北九州市が高齢者施設の入所者や従業員へのPCR検査を無料で実施する。(12/2西日本新聞)</p>	<p>千代田区、墨田区と同様の方式</p>

自治体における検査拡大の事例

2021/1/21

都道府県	自治体名	検査拡大の内容	備考
福岡県	久留米市	高齢者施設、障害者施設、保育園、認定こども園、幼稚園、学童保育所 など、久留米市内の小学校、中学校、特別支援学校（私立学校を含む）上 記で働く職員等（正規・非正規及び施設内で勤務する委託従業者を含む） への無料のPCR検査 検査回数は原則一施設1回（一人1回）2021年1 月12日～2021年3月25日	
高齢者施設新規入所者のPCR検査助成 枚方市以外に札幌市、福島市、川崎市、姫路市、尼崎市、福岡市、北九州市など多数			